

復旧・復興 -福島県土木部- インフォメーション



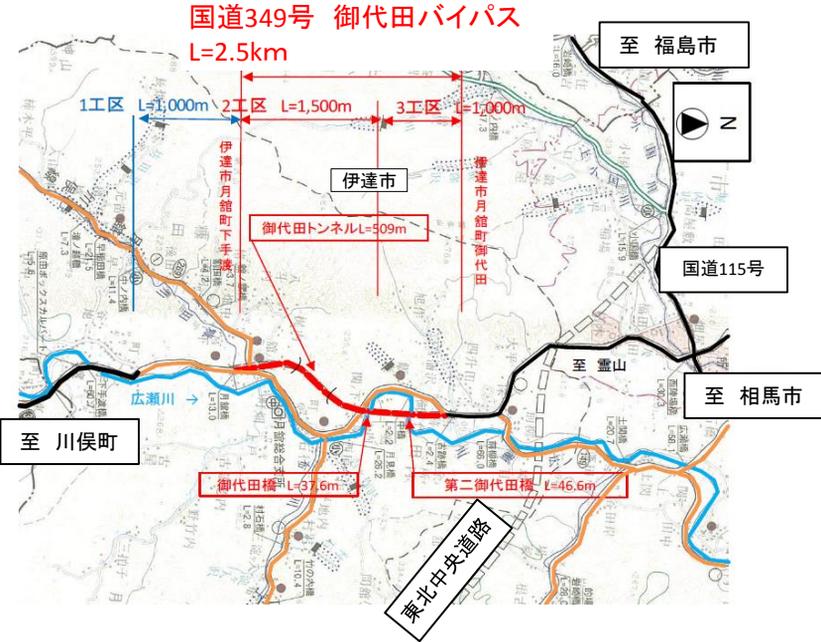
県北建設事務所news

みよだ 国道349号「御代田バイパス」 開通！

伊達市月舘町地内の国道349号「御代田バイパス」が平成27年7月10日に開通しました。国道349号は、中通りを縦断する地域連携上、重要な幹線道路であり、御代田バイパスの開通により、急カーブ・すれ違い困難箇所が解消され、沿線住民の皆様をはじめとする道路利用者の安全で安心な通行確保に大きく寄与することが期待されます。



開通式



こつなぎ 国道114号「小綱木バイパス2工区」 完成！

伊達郡川俣町大字小綱木地内の国道114号「小綱木バイパス2工区」について、平成27年4月14日に暫定供用開始をしていましたが、平成27年6月28日に本線部が完成しました。

国道114号「小綱木バイパス」は本県の復興を支援する「ふくしま復興再生道路」として整備をすすめていましたが、今回の完成により、現道部の幅員狭小や線形不良区間が解消され、安全で安心な交通が可能となります。



完成式



復旧・復興に向けた取り組みを紹介します

福島県 公共土木施設復旧・復興情報
～ふるさとの再生と帰還にむけて～ 福島県土木部

Web版はコチラ→ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/dobokufukkou-top.html>

復旧・復興事業が平成26年度全建賞を受賞！

本県で実施した復興公営住宅整備事業（年貢町団地）、夏井地区海岸高潮対策事業、平成23年災いわき石川線上釜戸工区公共災害復旧工事（道路）の3つの事業が、（一社）全日本建設技術協会の平成26年度全建賞を受賞しました。

全建賞は、建設技術の発展に寄与することを目的に昭和28年に設立され、建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用の工夫等により、特出した成果の得られた事業や施策に贈られる賞です。平成26年度全建賞は、全国より329事業の応募があり、77事業が受賞しました。

受賞事業概要

**事業名：復興公営住宅整備事業
（年貢町団地）**

受賞機関：会津若松建設事務所

実施期間：H26.6～H27.1

評価：

7ヶ月という短期間での施工により、避難住民への早期の居住空間を提供できたこと、また、県産木材の活用、高断熱使用などの性能面でも評価された。



外観



内観

事業名：夏井地区海岸高潮対策事業

受賞機関：いわき建設事務所

実施期間：H24.11～H25.11

評価：

ダム技術であるCSG工法を海岸に適用し、震災がれきを活用するとともに、堤防本体完成までの工期短縮を図った点が評価された。



施工前



施工後

事業名：平成23年災いわき石川線上釜戸工区公共災害復旧工事（道路）

受賞機関：いわき建設事務所

実施期間：H23.4～H25.8

評価：

建設発生土を運搬するダンプトラックの経路を往路と復路で別ルートに設定することで、大型車交通量の分散を図り、道路利用者の安全確保に配慮するとともに、ダンプトラックの滞留を減少させ、効率的な施工を実施した点が評価された。



施工前



施工後

Report

■【県土木部全体】平成23年被災・災害復旧事業の進捗状況（平成27年6月30日現在）

- ・東日本大震災 着手 **93%** 完了 **74%**
- ・新潟・福島豪雨 着手 **100%** 完了 **98%**
- ・台風15号 着手 **100%** 完了 **98%**

※率の算定は事業実施箇所数に対し、事業着手した箇所数の割合を着手率、事業完了した箇所数の割合を完了率、として算出しています。

※帰還困難区域の査定が未実施の箇所は含まれていません。今後の査定実施により対象が増加する場合があります。

